



豊平の福祉に愛の手が伸びる  
豊平地区マークと福祉標語

# とよひら

題字 関 正 明

豊平地区町内会連合会

広報紙第26号

発行責任者 関 正 明

札幌市豊平区豊平6条7丁目1-12

電話 (011) 811-9435番



祝 豊平地区交通死亡事故ゼロ3000日達成

平成17年6月17日、豊平地区水車町交差点で、真夜中、中の島方面から若者の暴走車によるひき逃げ死亡事故が発生いたしました。

地区ではその後この日に交差点横で慰霊祭と交通安全祈願祭を執り行い、その後秋の地域交通安全祈願祭を豊平神社にて開催して参りました。

以来、毎年町連交通安全推進部、交通安全指導員会、交通安全母の会や地区各小中学校、PTA、老人クラブによるスクールガードなどの協力により交通安全街頭啓発、登下校の指導等を開催し、事故死ゼロの街を目指して参りました。

平成22年12月には事故死ゼロ2000日を、平成24年4月には2500日を達成し、更なる安全な街、無事故の日を積み重ねる事を誓いました。

母の会では子どもたちの安全を願う毎年新入学生への安全マスコットブレゼントを続け、冬には雪道の駐車安全パトロールを行うなど地域ぐるみで交通事故死ゼロ、3000日をめざし活動を進めて参りました。

しかし、地域の活動は活発に行われても、他地域からの通過車両の事故も私達豊平地区の事故数と

## 豊平地区 交通事故死ゼロ 3000日達成!

3011日で死亡事故発生とは

豊平地区には国道2本の島からの水車町に通じる幹線道路があり、多くの車両が通過していますので、交通指導員や地域のみなさまの毎日の地道な努力と協力で、本年9月2日に交通事故死ゼロ3000日を達成する事が出来ました。

去る9月12日(木)午後6時より豊平会館大広間に於いて、豊平地区交通事故死ゼロ3000日達成記念式典及び祝賀会が開催されました。

関町連会長の挨拶の後、3000日達成の表彰状が関会長に、記念品が宮越交通安全推進委員会長に、三田市豊平区長から渡されました。

又、永年地域において交通安全推進活動に努力されてきた交通安全指導員、交通安全母の会役員9名の方々にも感謝状の贈呈があり、豊平区長さんと豊平警察署長(代理)・中島交通管)からお祝いの祝辞がありました。

会場では区長さんからの表彰状授与と共にまじくりセンター皆さん手作りのくす玉が割られ、3000日達成のお祝いに素晴らしい花を添えていただきました。

その後宮越交通安全推進部長から謝辞があり、横山市民部長の祝杯により祝賀会が開催されました。

参加された町内会役員、交通関係者、地元小中学校長等皆さん共々今後豊平地区の交通安全、街づくりなど語り合い午後8時終了となりました。

又、9月12日秋の街頭啓発には毎回百名を超える町内会交通部役員、交通安全母の会地区内小中学校の先生、PTAなど多くの皆さんが参加され街頭啓発の後、3000日達成の記念紅白餅が配られました。

祝賀会が開催された翌日9月13日夜11時半頃、水車町2丁目の道路において平岸地区居住23歳の女性が帰宅途中で中央区の32歳会社員の乗用車でひき逃げされ、加害者はその後近くの交番に自首する、と言った死亡事故が発生致しました。

3011日で豊平地区のゼロの日は途絶えたことになり、残念ではありますが、豊平地区の住民が被害者、加害者では無かった事は一つの救いではあります。

又一日、一日と無事故の日を積み重ねて行く事を目標に活動を進めて参ります。

四月二十七日豊平第十五分区町内会にはルネッサンスサッポロホテルに於いて、総会後の午後六時より創立五十周年祝賀会を開催いたしました。

当日の出席者はご来賓七名、会員五十五名の合計六十二名です。

始めに大本副会長に依り開会の言葉があり、続いて森会長が挨拶に立ちました。出席されたご来賓、会員にお礼の言葉をのべ、昭和三十八年に町内会が創立されて五十年、先輩役員並びに会員皆様の努力により、今日を迎えた事は大変意義深い事と思います。

五十年前と比較しますと、社会情勢だけでなく、人情も大きく変わったものと思えます。町内会の役割は申すまでもなく、会員相互の親睦を深め、公園の清掃やお祭り、福祉行政のお手伝い等、少しでも地域の為に役に立つ様な活動をする事と思えます。

## 15分区 創立50周年記念祝賀会開催



時代が変わっても町内会の役目は変わるものではないと思えますので、本日ご出席の会員の皆様方には、今後共行事開催の回覧板が廻りましたら、是非一名でも多く参加をしてもらい、役員にも成って戴いて、町内会活動を盛り上げて下さいませ様にこの挨拶がありました。

ご来賓の関正明町連会長より五十年間を振り返りながら、鄭重なお祝いの言葉を戴きました。

聖月流日本吟剣詩舞道会の松田先生と三名による剣舞の後、中川昭一町連副会長に、乾杯の音頭を取って頂き宴会に入りました。

地元のヨサコイソーランチーム「舞とよひら」にも元氣よく踊ってもらい、カラオケタイムに入り、ご来賓、会員を含め十数名の方々に歌って戴きました。皆さん歌が大変お上手で、会場が大いに盛り上りました。

午後八時三十分頃、中本副会長より会場の皆様にお礼の言葉が述べられ閉会となりました。

# 鉄一が里 第15回とよひらふれあいまつり 今年も盛況に開催される



平成25年8月25日(日)とよひらふれあいまつりが、豊平6条3丁目豊陵公園で開催されました。

今回は第15回の節目の開催でしたが、日程の都合上北海道マラソンの開催と同じ日となりました。

レースは午前中、祭りは午後からで、会場の隣接する道路がマラソンコースとなっていて、この日は一段と賑わったスポットでした。

又降雨の心配もある中、来られたお客様の気持ちにも支えられました。

想定外の出来事もあり、実行委員の知恵と機転と冷静な判断が試されました。



ランナー通過前より道路が一時的に閉鎖されましたが、祭りの数々の機材の搬入は時間を計って首尾よく行われました。

やがて上空よりヘリコプターの音、遠かった先導車からのスピーカーの音が近くなってきました。

ランナーの通過で祭りの準備は一休み、コース横で声援を送り、一頻り続いたランナーも途切れ、祭りの準備にもどり、オープンの仕事を着々と進められ、ヨーヨー釣りや、あそび用の玩具のコーナーも楽しめるように何時でも用意が出来るようになりました。

また、舞台の屋根はランドセルの背の形状に似ていますが、既にシートが掛けられていて、舞台の道具にも横なぎりの雨が入り風も強くなつてあわてて数枚のブルーシートが掛けられました。

やがて雨も上がりましたが、10張りほどの商店街の売店テントの足元には大量の雨水で数センチの水たまりとなつてしまい、あわててダンボールを敷きつめての対応で何とか出来そうです。

隣接した所は川の様で、排水マスは間に合わず、掃除用具や角スコップ等で処理に当たりました。

会場では2回目のテーパー拭きで大忙しでした。

お祭りのオープン前から消防団による子供向け消火器の放水体験もあり、西側道路では消防はしご車搭乗体験も行われて子ども達の驚きの声も聞こえてきました。

しかし突然の火災発生現場、塔乗整理券を手にした子ども達とお母さん達はあつげにとられた様ですが、程なく消防はしご車は帰って来ました。

やがて次々と高く昇る子ども達は眺望に感激を得ました。環境部ではごみと資源回収のため分別回収場を設け、交通部も自転車置き場など準備が出来ました。

いよいよとよひらふれあいまつりのオープンです。保育園児の開会宣言がありファンファーレが鳴り、花火が打ち上げられました。

最初の舞台は母子による優雅なフラダンス、続いて留学生のほのぼのとした民謡、いつものヨサコイチームも舞、今年新しく児童会館の子ども太鼓チームの演奏で音が会場に響きました。

今年15回目です。各町内会からの出演公募に応えたのは、ともに伝統芸能の沼田天狗はやしと、ひよっこ踊りのチームで、あやかな姿にて会場を巡り大いに沸かしてくれました。

## 豊平第四分区町内会の紹介

「豊平第四分区町内会」は、昭和四十三年に発足しましたので、今年で四十五周年を迎えたところです。

町内会には、豊平四条二丁目に位置し、世帯数は三〇〇世帯強ですが、平成十年代の地域再開発事業に伴い、個人住宅や法人・店舗は数軒のみとなり、殆どが複数の共同住宅(マンション)に居住する方で構成されています。

町内会組織は、会長のもとに一〇の事業部を設け、現在、会長以下十八名の役員で分担

朗祭り大賞受賞の北海道大学特等生が登壇、華やかさと若さ、爽やかさが会場を魅了いたしました。

次はメインの、ザ・キッパーズの出番です。男性グループ60〜70歳代青春時代の曲が多く懐かしさに共感してか、かつての若人中心に沢山の人が舞台下へ、思い深い曲と歌で、最後は歓喜の声で盛り上がりました。

私達役員が企画し開催したこのまつりが参加された老若男女の皆様が楽しまれ、思い出に残ると感じて頂ければと思います。実行委員が最後の撤収作業を終えて、家に帰る足の疲れと充実感と、今年もまたこのふれあいまつりを応援いただいた皆様に感謝しつつ終える事が出来ました。

親睦事業として「日帰りレクリエーション」を毎年行っていますが、今年も近郊ホテルのビアガーデンで交流会を開催し、親睦を深めました。また、女性と高齢者対象の昼食会も開いています。

夏季には、「パークゴルフを楽しまい」を毎月一回開催し、心身リフレッシュの場を提供しています。

子育て世代親子の交流の場として「エクセル・キッズ」を、毎月一回、マンション集会所で開催しています。ひな祭りやクリスマスパーティー等々、季節行事に合せた内容で交流を行って頂きます。

高齢者対象の「エクセル・シニアクラブ」も開設し、健康セミナーや茶飲み話などで適宜交流を図っています。

防火防災事業として、毎年消防避難訓練を行っている他、防災資器材も逐次、計画的に整備してきています。

環境美化事業は、年四回の地域一斉清掃と、春には歩道花壇の花植えを行っています。毎朝のごみ拾いや花壇の水遣いを交代で行いながら美観の維持に努めています。

交通安全活動は、町連主催の街頭啓発に毎回十名近くの会員が参加して

いる他、「パートナーシップ除排雪事業」を活用し、地域の冬場の道路確保に努めています。

広報活動として「町内会報」を年三回発行し、情報共有化を図ると共に、適宜「町内会地域安全情報」を発行し、近隣で発生した、盗難・不審者・詐欺等々の犯罪情報をお知らせし注意を促しています。

課題は町内会活動への理解と参加率の向上、それに伴う後継者の確保にあると言えます。当町内会では、昨年より「行事参加ポイント制度」を導入し、年間ポイントの高取得者を表彰し活動の活性化を図っていますが、まだ道半ばで今後に期待しているところです。

今後も、まちづくりセンター、町連・各単位町内会の皆さまのご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



# 豊平神社鎮座130年の歩み

## 70年振りの神輿渡御

明治政府は、函館戦争終了後の明治2年7月8日、えぞ地を北海道と改め、北海道開拓のため「開拓使」を設け、札幌を道都と定めました。

翌明治3年、島判官らによる道都建設開始と共に新たな移民政策による農民の移住が周辺村落に始まり、現国道36号線沿いにも年を追うごとに定着をはじめ小さな集落を形成し始めました。

明治4年崇敬の念厚い阿部仁太郎(初代)は現神輿のやや東方の自らの敷地内に祭神「上毛野田道命」の(小祠)を建立して奉祭したのが豊平神社の始まりであります。

明治17年6月神輿建立、祭祀に大山祇命、倉稲魂命を合祀いたしました。



「上毛野田道命」はえぞ地開拓の守護神として厚く崇敬奉神したことに始まり、更に開墾の途上森林を伐採するものが多くなりそこでその山林

開拓の守護神として「大山祇命」、その後開墾が進み沃野美田が年と共に拡がり、そうした農村の守護神としてさら「倉稲魂命」を合祀奉ったものであります。

入口の神明鳥居を潜ると約80mほど延びた参道の先に、玉垣で区切られた神域があります。

神域内には樹齢200年といわれる御神木のハルニレが勢いよく聳えています。

北海道独特の造りの拝殿と幣殿、神明造りの社殿は全てが繋がって造られ、神域内には針供養歌碑や交通安全記念碑等設置され豊平地区、美園地区の氏神様として奉祭されています。

例祭日は7月14日15日の両日社殿での諸儀をはじめ、「奉納子ども剣道」、「奉納子ども相撲」、「野点」、「カラオケ等の演芸大会」ヨサコイチーム舞とよひらの演舞」の他、参道には約20店の出店が並び終日子ども達にぎわいます。

今年豊平神社鎮座130年の記念の年他、伊勢神宮の20年に1度の式年遷宮と出雲大社の60年振りの平成の大遷宮が重なるスペシャルイヤーでもあります。

豊平神社では記念事業として、社殿手摺・階段改修工事、屋根改修工事、狛犬の化粧直しが行われた他、70年振りに約1トンといわれる御神輿の渡御が行われました。

豊平神社の御神輿は昭和3

年11月26日氏子総代会を開いて昭和天皇御大典事業として神輿新調方を決議し、小樽の神輿職人山下祥雲とその製作を契約(当時13500円、現在では約1,000万円相当)し、昭和4年7月1日札幌駅で無事引き渡しを済ませて新調神輿の初渡御がおこなわれ奉賛会より奉納されたものであります。

その後は人手不足などもあり10年毎の周年事業には台車に乗せて巡行をしていましたが、今年豊平神社130年を記念して、人力だけで練り歩き「歴史のある神輿を地域の活性化に生かそうと」地域の有志が神輿を担ぐ会の準備会を結成、平成25年2月7日より豊平神社、及び神輿神輿会のご指導ご協力を頂きながら準備会を重ね平成25年7月3日神輿を担ぐ会「豊平神社豊神会」を正式に結成(会長 演田繁光、頭 田子直樹、事務局 豊平神社内、会員数25名)致しました。

14日の当日は札幌市内及び近郊より約250人の担ぎ手の方々が応援に駆けつけてくれ、約5km3時間30分に亘り、厳肅かつ勇壮に神輿渡御が行われ初めて見る神輿渡御に地域の皆さん方大変喜ばれました。

神輿渡御は普段神社に鎮座されている神輿のときだけ神域から出て、神輿に乗って氏子地域を練り歩き町内の繁栄を眺め、人々の安寧を祈念して神社に帰る祭りの最も重要な祭事でありますので来年以降も継続奉仕していきたいと思っておりますので、ご協力のほど宜しくお願い致します。

# 旭水会館リニューアル完了しました

現在の旭水会館の建設の歴史をさかのぼると、昭和三十年代には水車町五丁目、豊平川神社の祠がありそのわきに古材で建てた昭和四十六年道路の拡幅工事があり豊平川神社、旭水集会所は移転せざるを得なくなりました。

当時の町内会長さんを始めとして町内の有力者で旭水会館建設期成会を結成して道路拡幅による立ち退き料を基金として不足金は町内各戸より建築資金の寄付集めに奔走し昭和四十六年十二月に現在の(水車町六丁目一十二)に念願の旭水会館が移転新築されました。

一階奥座敷に豊平川神社神輿を鎮座し他の座敷二間は小規模会合、会議、趣味のサークル活動に使われ当時は旭水庵という茶道の会もあつたよ

うです。また、二階大広間は畳敷きでまだまだ冠婚葬祭場が少なかつた時代なので冠婚葬祭は優先して使用されていましたが間もなく手狭になり昭和五十二年にまた各戸より寄付をおおいに南側へ増築をし町内会員の利便性の向上に努めてきました。

しかし、時代の流れとともに私たちの生活様式も変わり平成九年には従来の和式トイレから洋式トイレに替え、また平成十八年には従来男女共用であつたトイレを隣接する押入れをつぶして女子トイレを新設し、同時に二階ホールを全面フローリング張りにしてダンス等にも使いやすく改造し何度となく手を加えてきました。

以上のように会館内部は時代の変化とともに、また町内会員の要望をもとに手を加えられてきました。

## 国道36号豊平横断歩道橋の撤去に向けて

国道36号豊平横断歩道橋(豊平3条8丁目)は、定山溪鉄道及び市電の豊平駅の利用者の安全確保を目的として、昭和42年に設置されたもので

しかしながら、定山溪鉄道や市電の廃止に伴い、その使命を終えたこと、老朽化が進んでいる上に、階段が急こう配で危険であること、また、町内の高齢化が進み利用者が減少していることなどから、この数年、その必要性が議論されてきました。

そこで、この歩道橋の存続についてより広く意見を聞くうと、一昨年よりチラシを回覧したり地下鉄駅に掲示したりしましたが、「撤去に賛成」という声が数件寄せられたほか、特段反対の意見はありませんでした。また、今年6月、歩道橋の利用者を調査したところ、平日の朝・昼・晩の計6時間で20人、日曜の昼中4時間で5人と、極端に少ないことがわかりました。



旭水会館

てきました。また、外装は昭和五十二年からそのままの状態が数年前から外壁塗装がはげ落ち、また屋根のトタンも腐食が進んで来ている状態でした。

役員会で外装のリニューアルは避けて通れない問題という結論になりました。

旭水町内会は昭和三十八年に創立され今年平成二十五年が創立五十周年にあたりこのリニューアルを記念事業の一環にしようという事で豊平まちづくりセンター所長に相談をし、多大なご協力、ご助言を頂き工事費の半分は札幌市から市民集会所建設費補助金交付要綱に基づき交付されること決定されました。

今回の外装リニューアル内容は外壁全面断熱金属サイディング工事、屋根葺き替え工事、ダクト屋根葺き替え工事、外部パラベット塗装工事その他です。

それらを踏まえ、豊平地区町内会連合会は、8月2日、歩道橋の設置者である北海道開発局に対し、撤去の要望書を提出しました。今後、町内会や学校、警察などの関係機関による協議会で撤去の是非について議論、その結果を受けて開発局が撤去か存続か決定・実行することとなります。

現在、電線の地下埋設工事が進んでいる国道36号、歩道橋撤去により、さらに街並み景観がよくなることを期待します。



国道36号豊平横断歩道橋の撤去に向けて

# 豊平会館料金表

部 屋	収容人数	午 前		午 後		夜 間		全 日	
		9:00~12:00		13:00~16:30		17:00~21:00		9:00~21:00	
1 階	和室	10	使用料 450 運営維持費 1,000	使用料 600 運営維持費 1,000	使用料 700 運営維持費 1,000	使用料 1,400 運営維持費 3,000	計 4,400		
	クラブ室	15	計 1,450		計 1,600		計 1,700		計 4,400
2 階	研修室	30	使用料 1,400 運営維持費 1,000	使用料 1,700 運営維持費 1,000	使用料 1,900 運営維持費 1,000	使用料 4,500 運営維持費 3,000	計 7,500		
		計 2,400		計 2,700		計 2,900		計 7,500	
2 階	大広間	50人以下	使用料 2,300 運営維持費 1,000	使用料 2,900 運営維持費 1,000	使用料 3,300 運営維持費 1,000	使用料 7,400 運営維持費 3,000	計 10,400		
			計 3,300		計 3,900		計 4,300		計 10,400
		50人以上	使用料 2,300 運営維持費 2,000	使用料 2,900 運営維持費 2,000	使用料 3,300 運営維持費 2,000	使用料 7,400 運営維持費 6,000	計 13,400		
			計 4,300		計 4,900		計 5,300		計 13,400



**豊平会館利用のご案内**  
 地区の会館・まちづくりセンター  
 児童会館の併設館です

- ☆入場料・会費・授業料その他で、その額が600円をこえるものを徴収する場合、または営利・営業の目的で使用する場合は、5割増しになります。
- ☆カラオケ使用料は、1,000円です。(1区分)
- ☆町内会など使用料が免除になる団体があります。
- ☆体育室・遊戯室の予約、受付は児童会館へ。(☎811-1376)
- ☆ゴミを捨てる場合は、事業所用ゴミ袋(40ℓ)1枚240円で販売しています。

問合せ・申込  
 豊平会館へ  
 ☎811-9435

## 会 員 募 集

「楽遊会」

ゲートボールチーム  
 北海きたえーる北側ゲートボールコート、豊平公園横で、健康にも良く、平均年齢80歳(最高90歳以上が6名)の仲間が月々金曜日に活動しています。

冬は地域の体育館を利用し、老化防止に健康のため楽しく交流しています。  
 会場に來られるか、左記にご連絡ください。  
 連絡先 阿部 司  
 電話 841-5525

東園ハンタース  
 野球少年団  
 東園小学校グラウンドで毎週水・木曜日練習中です。野球を通じて健康と親睦、規律を大切に活動しています。  
 連絡先 青山 豊  
 ☎0901507011080



まちづくりセンター  
 4月1日新任所長さんに  
 本年4月1日付けで豊平まちづくりセンター所長に佐藤美賀さんが、東区地域振興課まちづくり調整担当係長から就任されました。  
 生まれは仙台市で、高校まで生活され、北大入学のため札幌へ、その後経済学部での勉強で都合6年間通われたそうです。

大学時代は勉学と共に探検部に属し、道内探検と、支笏湖や摩周湖の湖底調査として潜るなど、また、四国四万十川を十日間かけて川下りをするなど、アウトドア精神を発揮された行動は今日でも衰えない様です。

## ヨサコイソーランチーム

平成7年結成のヨサコイソーランチームです

豊平の子どもチームで幼児から小学生、中学生のメンバー中心で活動していますが、父母の皆さんの協力で、札幌大通でのソーラン祭り本祭、大祭、とよひらふれあいまつりなど地域のお祭りなど、舞っています。  
 連絡先 大窪 祐子  
 ☎82312679

## 豊平消防団

団員募集のご案内  
 豊平消防団では団員を募集しています。  
 地域の安全に、防火、防犯のため活動される方、詳しくは豊平消防署まで  
 ☎85221000



前任地東区では、地域のまちづくり担当で、我が国最初の玉葱栽培の地である東区で一世を風びした、「札幌黄」玉葱を地環境域振興の目玉として、その歴史、料理など市民に知ってもらおうと仕事をされ、本年3月小冊子「札幌黄物語」を完成されました。  
 豊平まちづくりセンター所長に就任されて6か月、これまで仕事をされて感じた事は、地域の皆さんが、町内会や商店街、老人クラブなどそれぞれの立場で、交通安全活動や環境衛生、ふれあいまつりなど、ボランティア活動に熱心な事が大変印象的の事でした。最後に「私は地域の皆さんが活動する事を応援することが仕事です」と語られています。

健康フェアとよひら  
 十月六日(日)  
 ◎豊平地区町内会全地区の秋の一斉清掃十月十三日又は十月二十日  
 ※今年最後の一斉清掃です。実施日時は各町内会から連絡されます。皆で参加し、

## ☆お知らせ☆

「豊平地区町内会連合会から」

◎祝 次の方々が表彰を受けられました。  
 ◎札幌市社会福祉功労者表彰 濱田繁光氏(豊平四の五)  
 ◎民生委員・児童委員に対する厚生労働大臣特別表彰 伊藤玲子氏(豊平一の三)  
 ◎豊平区クリーンさつぽろ衛生推進協議会会長表彰 梅田 正氏(豊平五の六)  
 ◎札幌豊平防犯協会連合会防犯功労者表彰

◎豊平地区防犯パトロール隊 石川紀男氏(豊平六の十)  
 ◎交通事故死ゼロ三〇〇〇日達成区長表彰  
 ◎豊平地区町内会連合会 小川悦郎氏(豊平四の七)  
 ◎宮越方利氏(豊平八の八)  
 ◎荒谷恵美子氏(豊平六の五)  
 ◎雨下清治氏(豊平四の十)  
 ◎山田秀明氏(水車町三)  
 ◎佐藤郁子氏(豊平四の七)  
 ◎木村黎子氏(豊平六の六)  
 ◎早川富美子氏(豊平四の十)

千葉玉枝氏(豊平七の八)  
 ◎平成二十四年度共同募金功績者  
 ◎豊平第一分区分町内会  
 ◎今後の主な豊平地区の行事  
 ◎十月から来年三月まで  
 ◎共同募金街頭募金運動  
 ◎十月一日(火)～十月六日(日)

◎健康フェアとよひら  
 十月六日(日)  
 ◎豊平地区町内会全地区の秋の一斉清掃十月十三日又は十月二十日  
 ※今年最後の一斉清掃です。実施日時は各町内会から連絡されます。皆で参加し、

クリーンで住みよい街にしましょう。  
 ◎豊平地区町内会連合会合同研修会 十月十八日(金)  
 ◎旭水町内会創立五十周年記念祝賀会 十月十九日(土)  
 ◎老人クラブ「福まち」お楽しみ演芸大会 十月二十日(日)

◎第十三回鉄一が里とよひら職人物語 十月二十七日(日)  
 ◎豊平第一分区分町内会創立五十周年記念祝賀会 十月二十七日(日)  
 ◎冬の交通安全運動街頭啓発 十一月十四日(木)  
 ◎秋季女性バレーボール大会 十二月一日(日)  
 ◎とよひら福祉のまち推進センター・お元気グッズ配布 十二月中旬

◎豊平地区新年交歓会 一月九日(木)  
 ◎豊平地区スキーを楽しむ会 二月十一日(祝)  
 ◎鉄一が里とよひら塾 第三講 留学生との料理の競演  
 ◎二月下旬 詳細未定  
 ◎豊平地区まちづくり連絡会 三月中旬 詳細未定

【防災コラム】  
 豊平区のコミュニティFMはFMアップル76・5MHz、市内で災害が発生した場合、優先的に非常放送を行います。

- 編集委員
- 中川 昭一
  - 松野 博志
  - 佐藤 郁子
  - 柴田 崇行
  - 宮越 方利
  - 細井 正勝
  - 石川 紀男
  - 下川 明幸